

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	Academic English for the Second Year I		
英文授業科目名	Academic English for the Second Year I		
開講年度	2007年度	開講年次	2年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化応用科目 I		
開講学科・専攻	情報工学科 量子・物質工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	網代 敦		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>(主題) 新聞英語などにおける多様な題材の記事を読みながら、その内容を的確に把握すると同時に、その内容について自己意見を、さまざまな表現手段(小エッセイ・口頭発表・ディスカッションなど)を用いて提示することを目的とする。内容は、文化・教育・政治・国際関係・経済について。</p> <p>(達成目標) (1) 英文の設問を通し、正しく内容理解ができるようになること。 (2) 英語・日本語で簡単でもよいから説得力ある自分の意見が提示できるようになること。 (3) 本文中に現れる語・語句を活用できるようになること。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
Power-Up English (南雲堂) 1900円

電気通信大学 平成19年度シラバス

【授業内容とその進め方】

初めに、本文理解を助けるために、Pre-Reading Questionsが2問もうけられてあるので、導入として最初にこれを行う。本文をパラグラフごとにしっかり音読をしてもらい、内容を述べる。次に10問ほどの本文に沿った語彙確認を行う。その後、内容に関する設問に答える。最後に、Discussion Questionsに答える。Discussion Questionsに関しては、英文の小エッセイによる提出、または授業中における口頭発表を通して行う。語彙・短文テストを随時行う。

以下、中心とする題材の内容を記す。

- (1) 対応時における人との距離感
- (2) 英語による落語
- (3) アメリカのjazz
- (4) 貧しい子どもたちの教育のための低価格コンピューターの導入
- (5) 企業へのTOEIC導入
- (6) 政治と公共ラジオ
- (7) 非正規雇用者の問題
- (8) 子どもの労働

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法：試験（小テストも含む） 70%

提出物・出席 30%

評価基準：最低達成基準は以下の項目です

- (1)十分な予習の上で、英文の内容把握を行ってきたか
- (2)積極的に意見発表に参加したか
- (3)与えられた課題を全て提出したか
- (4)最低三分の二以上の出席をしたか

【オフィスアワー：授業相談】

火曜日、12時10分以降。（講師控え室）ただし事前にアポイントメントを取ってください。

【学生へのメッセージ】

遅刻は厳禁です。3回の遅刻は欠席一回と数えます。30分以上の遅刻は欠席と見なします。

【その他】